

第3回 建設等整備委員会会議概要

平成30年11月22日(木)

16時00分～ 役場第2会議室

委員長

視察から帰ってきたばかりです。今日の感想も含め、建設的な意見をいただければと思います。いろんな設備を見てきました。教室、特別教室、保健室、図書室、職員室、交流ルーム、メディアルームというのもありました。特別支援教育の教室もありました。体育館、トイレ、照明、空調も見ていただきました。こういったことに関して具体的に皆様の感想の方をいただければと思います。

委員

3校とも特徴があっていい学校で非常にいい視察だと思いました。どうもありがとうございます。いつもの工事現場の工程会議みたいになってしまって、申し訳ないなと思っております。見た順番にお話させていただきます。K小学校からですが良かったなというところですが、平成11年から取り組み22年と10年ぐらいと時間をかけて十分な検討をしています。それから、特色として太陽光発電と地中熱ヒートポンプを採用しておりました。結構な設備ですけれども、地中熱というのは見積もりもいくらか、初期投資がかかりそうな感じとメンテナンスの面でまだ色々調べてみる必要があるのではないかなと思いました。多目的ホールは、色々なイベントなどでも使っているようで良いと思いました。教育委員会の方の話でも造成に意外とお金がかかったということを行っています。九戸中は高台なのでやっぱり40年前の法面とか、規格がもしかすると耐震等の関係でかなり補強をしなければならぬ可能性もあります。早めに試算してみる必要があると思います。次はN小学校ですけれども、児童とか来校者の動線を考えて設計されている、やはりここでも多目的ホールがすごく良く考えられているし、うまく学校等でも活用していると思いました。一番印象に残っているのは、木の暖かみと断熱性というか柔らかさがうまく使われていました。特に天井の木の使い方は、コストダウンにも繋がるし、狭さを感じさせないようなデザインで、あれは勉強になりました。それから暖房面ですけれども、床下エアコンと都市ガスということでした。都市ガスは九戸村だと無理なので床下エアコンは部分的に体育館とかであればいいかなと思います。ボランティアの方々とPTAの方の部屋をつくることによって地域との繋がりや地域の皆さんをうまく取り込んでいてすごくいいなと思いました。設計士が北国の方でしょうが、会社自体が首都圏の会社なので断熱性とか暖房機の使い方ではやっぱり課題が見えました。九戸の学校を造る時には、九戸の風土、気候をよく分かっている北国の設計屋さんにお願ひすればいいと思います。Sは、鉄筋コンクリートです。外観ですが打ちっぱなしもいいのですが、K校と比べると2年ぐらいしか変わらないのですが、もっと古く感じられました。

委員長

ありがとうございます。では、次の委員よろしくお願ひします。

委員

K小学校ですが、多目的スペースが階段状の状態のものがあって講堂みたいな感じで使われています。ああいうものがいいなと思いました。第一印象が木の匂いの豊かさを感じました。地中熱ヒートポンプを採用したことで、月に100万の電気代というのはちょっとびっくりしました。S町の庁舎は、エネルギーコンサルタントの方が入って熱計算をして月の光熱費まで出してくれる方がいます。もし九戸村で建てるのであればそういうコンサルも一緒に取り入れなければならない。建てたら維持する問題もあると思います。先生方がそれを管理していかなければならないので、簡単に修理の利くような設備がいいなと思いました。N小の間取りは、デザイン会社の素晴らしいところを持っており、非常に明るい教室というのが印象的でした。あまり陽の出ている今日でも教室が明るく見えました。ああいうふうに2学年ずつの島みたいな感じでもっていくとギャップというところで少し緩和されるなど、非常に面白い設計だなと思います。最後にS小ですけれども、大きさにもすごく圧倒されました。上手にイノベーションした校舎だなと思っています。九戸で建てる時は断熱、気密をしっかりしたうえで効率の良い設備にした方がいいなと思いました。地域の係わり合いでは青森県の学校の方が、非常に力が入っている。体育館を介して利用できる一連の流れも非常にいい配置になっていたと思います。PTAさんとか地域の方も遠慮をしないで学校の方に通えろと感じました。Wi-Fi環境とか職員さんのミーティングルームだったり、教材の納入スペースがあったり、先生方があれば助かるものがあるというふうに感じました。

委員長

どうもありがとうございます。次をお願いします。

委員

まずK小ですが、地元の特徴を生かす赤れんがを使ったり地元の木を使ったりしている。以前保育園の意見からもあったのですが、九戸らしいというイメージを持ち、特徴を生かしていければと思います。K町では多目的なトイレになっており、車椅子でも入れるようになっていましたし、小さなお子さんも着替えできそうなトイレがあり、良かったと思っています。交流できることで、多目的広場、ホールですが階段式になっているところが魅力的でした。多目的なので、会議をする、発表会をするという時には、そういった設備もあるので、K小さんの子どもたちが椅子を体育館に運ばなくても発表会も出来るというメリットも伺ったので、そういうところの面でも階段式がいいのかなと感じました。あと、K小さんの玄関に隣接の図書館です。騒音の問題を聞いたのですが、特に子どもたちは気にせずに図書館で読書が出来ているという話を聞いたので、一番出入りをする所、授業中というのはさすがにあまり行かないとは思いますが、子どもたちがフリーに本に集中する、そこを考えるとああいう位置の図書館でいいのかなと感じました。次にN小学校ですが、木の暖かみがとても感じられました。ガラス張り過ぎるのか寒さも感じました。子どもたちにとって環境の仕様では、光は採れますし、とても木の暖かみを感じるし、本当にフリーな環境というか全てが見渡せるような環境というのはいいのですが、ちょっと個人的にはフリー過ぎるのかな

ということを感じました。掃除は、N小の施設は、とても管理する側が大変なのかなと感じました。特に梁とかでも全てにおいて天井が高いこと、窓拭きも手が届かないとか、でも凹凸がある場所はどうしても埃が溜まりやすく窓を開けた時に全部それが飛んでくるのではないかと心配でした。ボランティアルームとかミーティングルームという普段あまり考えないのですが、こういう人たちが学校の中に入れるような環境をつくるには必要なかなと感じます。多目的広場のスクリーンは、あれも結構良い、最初にK小さんに入った時にレンガはもちろんいいな、特色だしいいなとは思いましたし、そこでみんなで学習が出来るような素材というのがいいと感じました。S小については、私はすごく大きい建物だなということに圧倒されました。小学6年生と中学1年生のあの仕切りが扉は付いていましたけれどもそのまま直ですね。あの程度で大丈夫なのかなと親心でそのまま小学6年生だった子どもが中学に入っているの、環境的には分け方がいいと思います。連なっているという状態がいいと思うのですが、保護者の意見の中に一緒にしないでほしいという意見もあります。不安も感じたところです。あとは、S小の特別支援学級クラスの教室を見せてもらった時に、区切られてはいたのですがパーテーションで仕切られていてそれを外すと、広い教室になるというふうなところを見た時に、K小さんの2階の間を仕切るようなパーテーションの仕切り方が出来れば、施設もいいのかと感じました。

委員長

どうもありがとうございます。〇〇委員お願いします。

委員

3校共通して校門から昇降口まで必ずある程度の距離を歩かなければならない校地になっているのはやっぱり大事なことだろうと思いました。例えば九戸中学校の今の校門は新しい学校でもあそこを校門にしていいのか、スクールバスをどこに停めるとかということも含めて、レイアウトというのが必要になっていくのかなということを感じました。それから、特別支援学級についての現在の九戸村の小学校中学校の特別支援学級の状況を考えると、ぜひS小のような小学校1年生から中学校3年生まで近くの教室で学べるような環境がほしいと思いました。外部から入ってくるという可能性はあまり高くないので、ただ棟が離れるのはちょっとなど。教頭先生に伺いましたが、さほど障がいの重いお子さんが現時点ではないので、どの学級のお子さんも生活のほとんどは交流学級で過ごしているそうです。また、授業へ行ったりきたりする場合にも自分でちゃんと計画を立てて呼びに来なくても自分で行ける、行くようにさせているという話でしたので、九戸村の現状を考えるとやはり遠いと間に合わなかったりとかということが起きるだろうと思うので、より交流学級に近いところにまとめるという支援学級があるような配置を工夫していただくと在り難いなと思いました。あと、私が優先的に見たのは掲示スペースだったので、K小学校さんとN小学校さんは本当に掲示をしやすい壁面になっていました。細かいことかもしれませんが、考えていただければと思います。あとは職員室については、K小さんはコンパクトな造りなので真ん中に職員室があってすごく先生方も動きやすいだろうと思いました。N小は、はずれに職員室があり特別支援棟を通らないと教室へ行けない。外を通ることもある意味良さはあるけれども、授

業まで非常に動線が遠くて、だから途中でルームがあります。実際には使いやすさはどうかと思いました。

体育館と図書室は地域の交流の場にもなり得る場所だと思います。特に図書室は、K小さんはすごく使いやすそうに見えました。あとの2校については、図書室はある程度はいいのですがパソコンの部分で圧縮された感じがしました。一緒でも別でもいいとは思いますが、同じくらいパソコンをより使えるようなレイアウトがいいと思います。N小の体育館に併設した様々な部屋というのは、一番外部の方々が入りやすい学校の場所と思ったときに、やはり体育館です。そういうところでいろんな集まれる部屋があるということはとても良いことだと思います。あとはいわゆる併設校は、保健室が2つ並んでいる。小学校1つ中学校1つかもしれません。並んでいる方がいいのか、どっちがいいのかとか、理科室が3つ並んでいるのは、いいのか悪いのか机の高さも若干違うというお話もありました。そのような時に特別教室の数ということについては校舎そのもののレイアウトにも深く関わってくるので、人数的にはK小さんをちょっと超えるぐらいの小学生と現在の九戸中の子どもたちということになると思います。どっちがいいか今の段階だと申し上げられませんが、検討が必要ではないかなと思いました。最後に本当に細かいことですが、黒板のLEDはすごくいいと思いました。九戸中の場合には天井が繋がっている感じでありますけれども、やっぱりあのLEDが一番明るいのでとてもいいと思いました。

委員長

どうもありがとうございます。それでは〇〇委員をお願いします。

委員

全体にまとめてお話したいと思います。教室について見たところ広めがいいなと感じました。黒板は黒がいいというような話がありましたが、確かに色覚関係のことを考えていくと、そういうこともあるのかなと思いました。LEDもいいのかなと思います。特別教室に様々な物品がキャスターとかで動かしやすいようにレイアウトしてあり、活かせるところです。保健室は、シャワールームがついていました。着替えるところとか。実際に本校でもそういうのがあればいいなと言っていてなかなか実現しないところです。新しい学校ではぜひあってほしいと思います。図書室についてはメディアルーム的な扱いでパソコンのところは狭いというのは、大きな学校であの台数で良いのか、そのようなところを解決しながらメディアルームとしての図書室というような感じは良いと思います。あとは動線をすごく工夫しているような所で子ども達が来やすい所、それでこそ初めてメディアルームとして機能するところで、良いのではないかなと思いました。職員室について小中学校一緒に入っていて情報交換をしながら進めていく方向が良いと思います。それから交流ルーム、多目的ホール等々あった訳ですが、その中でやはり階段状になっていて学校の全員がそこに座って集会をもてる、中学校を含めてそのような造りになれば良いと思います。それから特別支援教室に関わっては、非常に必要な設備の充実がなされていました。惜しみない設備の充実、トイレとかもありました。その他について暖房の必要な冬場はガスですか油でしょうか電気でしょうか、とにかく床で出来れば本当は良いと思いますがただ高くなってしまいうところですね、とにか

く暖房は必要だということです。ボランティアルーム、PTAとか活動しやすいスペースが作ってあると言うことがすごく大事なことだと思います。E小学校では社会教育でスポ少とか地域の方々とかに開放しているわけですが、それで下のお店のから鍵を借りる便宜を図っています。警備会社をお願いすると鍵を返す時にまたいろいろ難しい所が出てきます。やはり別棟になっていると利用しやすいと思います。照明採光のことですが、やはりLEDで、どうせ建替えるのであれば照明はそのようにしたほうが良いと思います。採光については本当に明るく素晴らしいと思いながらも、はめごろしだとか、掃除とかそのような面が大変だという話がありましたが、その事は活かしながらすばらしい学校を作ってほしいと思います。

委員長

はい、どうもありがとうございました。

委員

3校とも特徴のある建物ですばらしく良かったと思います。やはり新しいものは良いというのが第一印象でした。共通して多目的ホールが各学校とも充実していました。N小は、段上の300名程度の大きさで、スピーカー等の設備も整っていました。地域の雰囲気とか全体的な集会というものがスムーズに行くのではないかと思います。あとは木質化というのが非常に印象に残ったかなと、K小もそのような感じですね、S小もそのようになっています。良かったと思っています。多目的ホールは是非あのような充実したスペースで良いのではないかと感じました。2点目が熱源ですが、どうしてもガス・電気・重油・灯油とかあります。イニシャルコスト、ラーニングコストといえどどれが一番安いのかと以前考えましたが、なかなか結論が出なくて最終的に今の灯油・重油というような結果になりました。これから熱源を何にするかということですが、K小のヒートポンプというものも結構建物には使っていますがトータル的にはどうかと少し考えながら、N小ではガスとか言う話です。何れ熱源をどのような形にするか一つの課題ではないかなと思います。3点目は、3校とも木質というのがポイントになっています。やはり木質というのが良いかと、確かK小がRCに内装仕上げに木質化をやっていますが印象も良いですし暖かさも感じました。N小はフローリングでも椽材といいますか肌触りが非常に良かったかと、スリッパを履いていても心地よさを感じました。床は基本的に木質化というのが良いのではと思います。部分的には絨毯というふうなもの、パソコンとか救護室というようなところについては絨毯も取り混ぜていくのも一つかなと思います。四点目ですがICTの無線ラン等これからも益々求められていくのではということで非常に良かったかと思っています。最後になりますが、先ほどお話された地元の特長を活かしたものという事でK小は赤レンガとかというように動いていて、一つ目には地元の特徴を活かした何かを見せる、シンボリックなもの外観とか内装に何かを取り入れるというようにして欲しいかと思っています。

委員長

はい、どうもありがとうございました。

私のほうからよろしいでしょうか。感想も含めてですが先ほども話していましたが、N小

学校の多目的ホールは大変良かったと思います。全校集会とか朝会をやるということになれば体育館とかの寒い所で震えながら立つという所で、そのような意味ではあのような室内の中で朝会とか全校集会とか出来れば良い形で出来るのではないかと感じました。それからプレゼンの幕とマイクのほうも大変良い形で、あまりハレーションをおこさないで出来ていると思いました。それに伴って多目的ホールと図書館とメディアルームというのを中心にすえながら各学年との動線といいますか、アクセスが良いなというふうに思っておりました。いろんな子ども達がすぐに学校の真ん中に集まって交流と言うか勉強ができるのかなと思います。どちらかという図書館、九戸村は国語のほうに力を入れてますし勉強の基本的な能力、力になる活字に親しむそれからメディア、デジタルのほうにも半分ぐらいつつふれて、これからの教育に発展できるのではと感じました。ボランティアルームとPTAルーム、ちょっと離れて職員室、離れていましたけれども出来れば職員室とボランティアルームとPTAルームそれから校長室、会議室というかなるべくそういう所が同じエリアにあったほうが校長先生の話とか、あと情報交換というのはスムーズになるのではないかなと思いました。それから出ていましたけれども窓を大きくすると寒くなり断熱で難があるということもありますし、これはちょっとバランスの問題で丁度良いバランスをとった空間があれば良いと思いました。出来ればちょっと明るめのほうが良いのかなというふうに思います。地域の特色を活かしたような教育内容とか建物というのを工夫していく必要があると思いました。小中学校といいますと全国一律金太郎飴のような形で同じようなことですがけれどもやはり九戸らしさというのは考えるといいと思いました。吸音というのが必要です。私もいろいろなところに行ってみますとマイクのハレーションがおこり中々うまくクリアな音でお話できないということになると難があるのかなと感じることがあります。あとは学校の中に児童センターというのがあったはずですが、あのような所もこれから必要になってきます。もう一つトイレの問題ですが、地方のほうではあまり問題にはならないと思いますが今LGBTの問題が都会のほうでは大きくなっています。男性女性それからどちらともつかないような方々のトイレと障害者用トイレとか今回そのようなところの工夫も出来るのかなというふうに思いました。最後S小の所で特別支援教室を見ましたけれども、その隣の所に小学校一年生の学級があってその辺が同じ屋根の中で勉強というのが良いかなと思います。あと出入り口も一緒だということでこれも良いと思います。そちらのほうに小さい出入り口がありますが、親子が使うということで子ども達は毎日同じで、いくら障害があっても入口が別々ではなく同じところから入ってお互い挨拶を交わしていくという姿が良いと感じました。

教育長

皆さんにお渡ししてある4つの視点から私なりに考えると、地域を学ぶ場で伝統歴史ルーム、それぞれの学校でも歴史等があったかと思います。S小学校ですと玄関の入口の所に古い学校の校門の名前がありました。あの学校の歴史についてどこで今の子ども達が学ぶのか、それから学校間どうしの繋がりというものをどこで学ぶのか、S地域というものをどこで学ぶのか、ここはすぐ目前にS城があるわけですのでそういう学ぶ場が必要と思いました。何とか九戸の場合でも再編した場合には各小学校の歴史、統合前の中学校、九戸村の歴史を学ぶという一つの教室というのは必要ではないかと思います。これは図書室とパソコン教室と

のつながりも含めて必要であろうとされているところです。豊かな心の醸成を支える場ということで、子ども達が学校生活を安心して友達と切磋琢磨しながら時には涙を流す場面もあるかと思えます。そうした場合に教育相談から、子ども達がほっとする心を落ちつかせる場面という教室を九戸村なりの名前をつけて作る必要があると思えます。よく色々な学校へ行くと教育相談室としていますが、子供が落ち着く九戸村独自の物を作っていけば良いということです。運動空間の充実と言うことで地域との関係から社会体育館の開放と言うことで使っています。その社会体育館の開放と同時に開放して汗を流してほっとする場というものがあれば良いだろうと、そうしたときに地域の方々と小中生と一緒に運動した後に、集まるような空間が一つの教室のような空間ではなくて、今日S小で見たような空間というようなことも必要であろうかなと思うところです。最後に小中一貫教育についてはここに赤ペンで事務局のほうで書かせていただきましたが、小中の学習の交流と言うことで外国語活動がここに出されてきましたけれども、その他に音楽を学習する場面、音楽の活動の場面、そして読書活動の場面というように小中が一緒になって活動する所、これは交流ルームとして当然必要だと思えます。その他に学習と心の部分を養うという小中のつながりの教室、空間を作っていくことが大事なのではないかと。もう一つ特別支援教育を小中一貫教育の九年間で育てていきたいと思いますということが小中一貫教育を取り入れる目的の大きな一つとしています。そのような点から考えると今日のS小学校はまさしく特別支援学校のような感じのものになっていました。中学校の校長先生と同じ感覚をもち一回目はそんなではなく今日見て離れてしまっている。インクルーシブであればもっと近づいて普通学級と小学校と中学校のあいだに作るとかそういうように一体となったところに作ってやっていかなければならないのかなと、それからもう一つはインクルーシブですので特別支援学級の子供が普通学級に行くだけではなくて、普通学級の子供が特別支援学級に来るようなそのような仕掛けを作っていかなければならないと思いました。今日、〇〇さんは事情があっておいでになっていませんでしたが、空間認識と、位置関係とかそのような遊びを通じてというふうな事だそうですねけれども、そういうものを特別支援教室の中に作り、低学年の子ども達が遊べるように作る。N小のように、活かすことによって特別支援教育の子どもたちの社会性というような部分が養われてくると思っています。この四つの視点から考えた上での九戸村なりの空間を作るとなった場合には今のような考えを取り入れて皆さんからご意見をいただきながらまとめて行けば良いのかなとそのように思いました。私はN小へは始めてですがK小、S小は二回目です。行けばまた気づくものがあるし、もしかすればもう一回行けば違う見方ができるのかなと思います。施設があまりに立派過ぎて子どもの動きが見えないということ、子どもの連続性が見えなかった点も重要性もあったかもしれませんが、小学校は小学校の姿勢、中学校は中学校の姿勢にし、このようなものを作るために小中の子ども達が交流していくと言うように、やはりずっと地域の方が校舎を廻ったときに子どもたちがお互い笑顔で勉強している、お互い小中学校で交流しているような動線を作ってやりたいことが最後の感想です。視察校を批判しているわけではなくて、すばらしさをもとに考えたということです。そして専門家の方から断熱材が非常に薄いというふうなお話を聞きました。

委員

ほぼ入っていないと思いますけれども、今日の体育館も鉄骨が剥きだしで外の温度をそのまま中に伝えるような状態、いくら暖房しても熱が逃げる状態ということ。住宅でも 20センチぐらいの断熱というのはほぼ増えては来ていますが、そのような中でRCの場合には 5センチとかのものを貼ったりしていますがそれでは全然たりないです。ここは札幌の平均気温より低いですし日射もここは札幌よりないです。そのようなことで比べると北海道なみに建てないと暖房効率はすごく悪いと思います。

教育長

ありがとうございました。

委員

設計する人はデザインだけではなくて基本的な構造、断熱性能のこととか考えや方が良いと思われま。

委員長

それではひと通り皆さんの方から感想、ご意見を出していただきましたありがとうございました。そして次の協議ですが、あとは皆さんの意見を聞いたところでざっくばらんにこのようにしたら良いのではないかなという意見を出していただきたいと思います。

委員

この間、ワークショップとかで一般の方々の意見を集めるとかアンケートの話もありましたけれども、PTA関係者だけでなく中学校統合を経験したおじいちゃんおばあちゃんとか中学生もあと 10 年そのぐらいすると親になって自分の子供がその学校に入るわけだからやはり子どもの意見も取り入れていくことも必要だと思ひます。

事務局

アンケートについては、12 月頃にやっはどうかという話を委員会でもしています。内容については〇〇委員がとったような形で、あまり難しいものではなくてどのような施設が欲しいかとか何を重点に置くかというような形の簡単なアンケートを、行政連絡員を通じて全体に配布してもらいたいと考えております。

委員

それが一番回収率としても良いと思ひ。やはり行政区がしっかりしているひで。

事務局

その辺で内容を作って委員長さんなり副委員長さん達と内容を検討していただきながら実施したいと考えています。

委員長

N小学校に関しては見てもらえば今までの学校というイメージが覆されるようなそういうイメージでした。一見は百聞にしかずというようなこれからの教育の施設はどうなればいいのかということのいろいろ考えさせられる感じではなかったかなと思います。社会教育生涯教育ということも含めて大変行ってよかったなと思いました。他に皆さんの方から何かご意見とかありませんか。

委員

九戸中学校という事ですけれども、敷地全体と言うか解っていません。マップでは見ましたけれどもイメージするような敷地、現在の配置的なものも資料提供していただければ。ちょっとイメージが、今は整備方針をやっていますがその辺の資料もあればお願い出来ればと思います。何かたたき台のようなイメージ図のようなものを作ったほうが良いのではないかと今日見て思いました。

委員長

大きな感じでの提案。そしてプロポーザルといいましたかそういうコンセプトのようなものが出来上がればいろんな会社の人達がこのようなものが良いのではないかとというように細かく更にそっちのほうは出てくるとは思いますが、大まかなイメージですね。

委員

九戸村の良さを活かすというようなことで自然を活かした造りになったら良いのかなと思います。それを活かすということは、周りの場というのものもあるし、心を豊かにする場になっていきます。例えば校舎の周りの環境の中でよく使われたビオトープだったりしますが、九戸村はほたるの郷とも言われています。そのようなものを活かすということができるかもしれません。それから周りの自然を子ども達が探索できるようなまた花を愛でたり木に触れて良さを味わったり出来るようなフロアを作ったり、周りに散策路があればその自然をいかしながら子どもが学んでいけます。山友会の方にも教えていただけるような場を作り、あの自然を活かして学習の効果を育む場としての学校が出来るのかなと思います。

委員長

はい、ありがとうございます。自然豊かな子ども達が恵まれた土地に住んでいると思います。ある学校でこれは何と聞いたら雑草だと答えたので雑草という草はないと、草花、木、いろいろな物に名前があるというような話がありました。今の私たちの教育もそうですがいろいろな草花とか木とかあるわけですけれども、カラマツと赤松とかそう言われてもどれが何の木なのかよく解らない。自然豊かな場所に生まれた子ども達には自分の村にはどのようなものが有るのか、理解できるようなところも良いと感じていました。それから他に皆さんの方から何かありましたらお話いただきたいと思います。

委員

保育園等の要望にもありましたけれども、体育館が2か所必要なのかグラウンドも2か所別々に必要なのか、そういうものを1番最初に決めていかないと、これは後で意見を聞くのではなく最初にやって敷地の問題があるのでグラウンドが小中別なのか体育館が別なのかその辺をやはり面積を大きく取る部分は早めに決めたほうが良いと思います。部屋でしたら後で中に組み込めるし、一部3階でも作れるので、土地の問題は詰め込むわけにはいかないのです。その辺の所は最初に聞いて決めてやったほうが良いのでは。

委員長

他にございませんでしょうか。

委員

今お話いただいたこのグラウンド等の数のお話があったので、実際中学校で学習している立場から言うとグラウンドは一つで良い、中学校はあのような広いグラウンドをいただいています。あのトラックがあるグラウンドを中学生が使うのは陸上の授業と体育祭の集会と陸上練習だけです。部活動では全く使わないです。昼休みに利用している生徒もほぼいません。ですから仮に今度小中一貫校となった時に小学校と中学校の授業が同時に行われてもクラス単位を考えれば十分出来ると思うのでわざわざ二つ造る必要はないと思います。それから体育館については二つ必要だと思います。S小のように本当に体育館が二つという場合だけではなくて良いと思います。盛岡の土淵小中学校は体育館の隣に格技場みたいなスペースの体育館です。実際、現在中学生1クラスは24、5名です。小学校全部1か所に集まっても1クラスは同程度ですから体育館を全部使って活動するということはあまり考えにくくて、もしかしたら体育館一つで、あっちとこっちというふうにするのも可能かもしれませんが小学校と中学校が同じ場所で体育をしていたら小学校が危険だろうかという点と少なくとも一緒に体育ができるプレイルームのかいというか、必ず体育館として独立させなくても校舎の中の大きな部屋として造ることも可能だと思います。そういう意味で言えば体育館というものを造るのであれば、一つでいいのかも知れません。ただ中学校では体育の教科の中の種目として武道もありますし、部活動としても現在柔道部もありますのでやはり確保するスペースも例えば小さい体育館が一階にあって上下関係が逆でもいいのですがそれで体育館と格技場の造り方も出来るので、今日のN小は住宅街ということで二階建てでしたが今中学校は三階です。伊保内小学校は三階ですから、三階建てと考えた時横に広げるか縦にするかという考えですからそういう見方をすれば体育館として何か独立するのは一つか、それからプールは壊すかどうか判りませんが中学校としては珍しく浅いプールがあります。山根小学校から夏場は毎日泳ぎに来ていますから、もしレイアウト上工夫が出来れば現在のプールは、ポンプは老朽化していますがプールそのものはきれいに塗っていただいたのでとてもきれいです。あのまま使っても小学校と中学校が同時にプールに入っても出来ると思います。

委員長

プールは雨さらしのプールですか。

委員

屋根はないです。つけていただければ良いですがそれだけでもずいぶん違います。

委員長

いつも雨が降ってしますと塩素とか基準以下になってしまってもう使えないという形になってしまいますかね。

委員

そうでもないです。むしろ今年大変だったのは暑かったのでプール体育の時間中にも熱中症とか心配ということでテントを設置した。それを追加の工事で設置していただければ助かります。壊して違うプールを違う場所に造るとかそれは今後のことですが、設備としては現在のプールで十分と言うことになります。

委員長

はいありがとうございます。他にございませんか。

委員

野球場がある非常に貴重な学校ということです。野球が盛んな地域性を考えると野球場はぜひ維持していただきたいと思います。

委員長

弓道もあっても良いとかもしれませんね。めずらしいかももしれませんね。

委員

理想を語れば今日のS小は特別だとしてもテニスコートがありますが、実際は土のコートでなかなか使い勝手が良なくて、結構はなれたところの人工芝のテニスコートで練習することが多いという実態があります。スペースとしてはテニスコート分があります。学校でできるようにとか、照明設備もあればそこで活動できればありがたいですね。

事務局

今テニスコートは中学校ではあそこを使っていますか。

委員

部活の時間は使っていますがそれ以外は全部ふるさとの館の方に。

委員長

他にございませんでしょうか。

委員

少し主旨から離れますが今の建物の杭というかその様なものは打っていますか。要は地盤の話ですが山を切ったのでしょうけれども。

事務局

40年前にボーリング調査をやっているのでおそらく必要なものは、ただ40年前の基準と今の基準は違ってきていると思うので、今やるとしてもボーリング調査はしなければいけないと思います。

委員

おそらく建てるとなれば地盤調査をしなければいけません。

委員

杭のような物は打っているかどうかわからない訳ですか。

事務局

普通は打っていると思います。

委員

地盤はどうなのかなと思って今そういうふうな。

委員

事前に地質調査をすることで、その地質を使えるかどうか重大な下に水脈とかがあってまづいとかなった時はやはりそういう対策をとらなければならないのではないのでしょうか。

委員

気になるのは山を削ったときに、沢のような場所によってはある場合があるのでどういうふうな所かなと思いますが。

委員

地盤の補強に莫大なお金がかかる場合もあるので、その辺も踏まえて出してもらったほうが良いと思います。

委員長

先ほど青写真のようなものがあれば良いなというようなお話がありました。

そのようなことが出来るものなのか、委員の皆さんから意見があったとしてもなかなかそういう事をいざやるとなると得意不得意があると思いますが、出来るのであればちょっとたたき台にして皆さんでこのようなものが良いのではないかという。

委員

電子化というのは。ソフトになっているとか。

事務局

ソフトにはなってはいません。ただ航空写真なり土地の図面は電子化にはなっています。土地の状況については、その土地の全部 GIS 等から出し航空写真でまた状況等は次の会議にはお示しします。

委員

土木関係とかちょっと、地盤とか地質とか斜面の補強とか、土木の基準があるのでそうするとたぶん地震とか震災があって少しずつ改正されてきているので、もしかすると離れなければ建てられない、補強の仕方も変わってきている。40年前建てたから、今も続くことはたぶんないと思うので早めに地盤調査はやったほうが良いと思います。

委員

ケースが大きく変わります、杭があるかないかによって全然工期も違います。

委員

九戸村の文化と歴史とかそういったものはこの4つの柱のどの部分にあたるものですかね。

教育長

これでいけば「充実した学びを支える場」というのがありますが、ふるさとを学ぶ、ふるさとから学ぶということ等が子ども達を育てるためのときも1番の柱の所になります。

委員長

そうですね、これまでの九戸村の文化というところの学校のどういった空間かはあれですが、そういったもので学ぶことが出来るそういうスペースがあっても良いような気がします。それに図書館と併設されているか解りませんが、よくあるのは小学校の中に土器とかそのような文化財的なものが五つの学校ですからいろんなものがあるのではないかという気がします。そのようなかなりの学校の歴史、地域の歴史をまとめて大事にしてきたものというのはある意味すごいですよ。こういったところも考えていただいて良いのかなと思います。

委員

地域の方との活動ということで、学校から切り離れた形態でないと学校の先生の負担が出るのかと思います。ただ、地域と活動だとE地域の場合はE神楽がありますが中学校に行くかないです。高校でまたありますけれども、もし一般の方がきて教えてくれるのであればそういった切り離れた、例えば体育館側のそのような所で教えていただければ先生も負担が少ないと思いますけれども。

委員長

ボランティアルームのように一緒にしたような形で、あとはそこで PTA 活動とかやり、いろいろな地域の社会教育を考えられるようなそういう所ですね。いろいろご意見等よろしいでしょうか、今日はこの辺で終了とそろそろしたいと思っておりますがよろしいでしょうか。それではその他皆さんの方から何かと言うこととなりますが特にありませんよね。では教育長さんから閉会をお願い致します。

教育長

本日は、大変お忙しい思いをさせました。朝からですので 10 時間以上になります、ただ皆さんと一緒に具体的なものを実際に見ると大体同じような見方或いは違いがありました。いろんな経験から施設の方向性、子どもにとってなにが良いのかと言うことが見えてきたような気がします。本日の意見を基にしながら再度こちらのほうでまとめて或いはいろいろな方々の意見を聞くような形で皆さんの方へお知らせするようにしていきたいと思えます。1 番使うのは子ども達ですので先ほどお話をされたように中学生、小学生の高学年の具体的なイメージが出来た時にはその方々のほうのご意見というのが大切かもしれません。ある学校ではワークショップということで子ども達から意見を聞くかというものもあったようですので、そのことも含めながら今後それらの検討しながら進めて行きたいと思えます。本日は大変お忙しい所ありがとうございました。